

No. 83

やまなし

9月定例会

令和7年11月21日発行

市議会

だより

目次

定例会の概要	2
議案等審議結果	2～3
代表質問	4～5
一般質問	6～11上
行政視察受入	11下
委員会報告	12～15
議会活動報告・編集後記	16

歳入歳出予算にそれぞれ 18 億 9,957 万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 282 億 3,381 万 6 千円とする一般会計補正予算など 35 案件を審議しました。

START



令和7年9月14日 第41回山梨市巨峰の丘マラソン大会

9月定例会の概要

市長から提案された条例改正、令和7年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

議案第74号

令和7年度山梨市一般会計補正予算（第3号）

6款 農林水産業費、1項 農業費、3目 農業振興費の補正額8,940万4千円の内、1,780万円のクラウドファンディング整備事業経費の修正動議が決議され、可決されました。よって、歳入歳出予算にそれぞれ18億8,177万円余を追加し、総額を歳入歳出それぞれ282億1,601万6千円にするものです。

【主なもの】

- ・山梨市駅南口周辺整備構想事業などに伴う政策形成経費（798万円余）
- ・ふるさと納税事業経費（3億5,243万円余）
- ・モモ産地競争力強化支援事業や産地パワーアップ事業などに伴う果樹振興費（6,548万円余）
- ・市内一円の道路修繕などに伴う道路維持管理経費（1,040万円）
- ・加納岩小学校前通り線整備事業の推進などに伴う道路建設改良事業経費（9,267万円余）
- ・山梨市駅南地域整備事業経費（2,900万円）
- ・山梨分団第3部詰所の建築設計などに伴う消防施設整備事業経費（319万円）
- ・防災無線維持管理経費（630万円余）
- ・旧牧丘第二小学校体育館床改修事業（1,952万円余）

修正動議とは？

議会で既に提出されている議案に対して、その内容を修正する提案を行うための動議です。

令和7年9月定例会議案等審議結果

9月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権 /：欠席）

議案 番号	議員名 件名	遠山 雄二	天野 有紀	長沼 和人	糠信 平	榎野 雅敏	島村 雅美	清水 和美	星野 洋	矢崎 和也	土屋 裕紀	木内 健司	萩原 弥香	根津 和博	藤巻 豊彦	岩崎 友江	深沢 敏彦	村田 浩	審議 結果
第69号	山梨市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第70号	公益的法人等への山梨市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第71号	山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第72号	山梨市事業所設置奨励条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第73号	山梨市立牧丘病院設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
	令和7年度山梨市一般会計補正予算（第3号）修正案	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	可決
第74号	令和7年度山梨市一般会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	修正 可決
第75号	令和7年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第76号	令和7年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決

議案 番号	議員名 件名	遠山	天野	長沼	糠信	榎野	島村	清水	星野	矢崎	土屋	木内	萩原	根津	藤巻	岩崎	深沢	村田	審議結果
		雄二	有紀	和人	平	雅敏	雅美	和美	洋	和也	裕紀	健司	弥香	和博	豊彦	友江	敏彦	浩	
第 7 7 号	令和7年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 7 8 号	令和7年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 7 9 号	令和7年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 8 0 号	令和7年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 8 1 号	令和7年度山梨市水道事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 8 2 号	令和7年度山梨市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 8 3 号	令和7年度山梨市下水道事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 8 4 号	令和7年度山梨市病院事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第 8 5 号	令和6年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 8 6 号	令和6年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 8 7 号	令和6年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 8 8 号	令和6年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 8 9 号	令和6年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 0 号	令和6年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 1 号	令和6年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 2 号	令和6年度山梨市活性化事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 3 号	令和6年度山梨市諏訪財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 4 号	令和6年度山梨市西保財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 5 号	令和6年度山梨市堀内財産区特別会計歳入歳出決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 6 号	令和6年度山梨市水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 7 号	令和6年度山梨市簡易水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 8 号	令和6年度山梨市下水道事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第 9 9 号	令和6年度山梨市病院事業会計決算認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
第100号	山梨市民総合体育館改修機械設備工事（継続）請負契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第101号	山梨市立学校設置条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第102号	山梨市道の路線認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
諮 問 第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認 め る と
請 願 第 2 号	最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める請願書	反	反	反	賛	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	不 採 択
請 願 第 3 号	学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	採 択
山 議 案 第 5 号	学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決



問 高木市政8年間の成果と課題について

行政評価は「活動指標」と「成果指標」の2種類に大別される。
①成果指標の具体的な内容を伺う。②活動指標によって見えた今後の課題と展望を伺う。③3期目への政治姿勢と市民、職員、議員とどう向き合い臨むのか伺う。

市長 高木晴雄

答 ①「空き家バンクや移住支援金を活用した移住者数」は、令和5年度目標値20人に実績26人。令和6年度目標値25人に24人実績を上げた。大きな成果は、妊活応援事業「治療助成者の出産割合」で、県下一の支援策を講じ、令和6年度目標値20%に実績値41.1%となった。②新たな人流の創出、DX（デジタル変革）、GX（環境問題解決と経済社会変

革、それらの取入れと、その施策推進が重要と考える。③常に市民の声に耳を傾け、語り合うことが最も重要であり、職員とも意見交換し、自らの能力を最大限発揮できる環境づくりに努めてきた。議会と2元代表制のもと、互いが対等な立場で議論を進め、建設的なコミュニケーションを図り臨む。

問 山梨市駅南口周辺整備方針と全体スケジュールについて

更地となり1年半が経過し、市民の関心と期待は日に日に高まっている。早速に方針を示すべきと考える。
①実際の活用はいつか、事業スキームと全体スケジュールを伺う。②事業公募の考えを伺う。③様々検討組織があるが最終決定はどの機関が行い、市民の意見はどのプロセスで反映されるのか伺う。④本事業に係る補正予算798万円の目的を伺う。

市長 高木晴雄

答 ①来年度にかけて「基本構想」策定により、コンセプト、導入機能、規模、ゾーンニングなどの検討を図る。事業手法の整理やサウンディング（情報収集）によりスケジュールを見極める。

②基本的な考え方と方向性、整備方針を示した後、事業公募も進め方の一つと考える。③庁内外検討委員会にて最終的な方針を検討し首長に提案する。引き続き多くの意見を伺い、総合的な方針決定は首長が行う。④官民連携の実現可能性や参画可能性、参画条件調査ゾーンニング検討の追加である。

問 アザレアタウンの必要性和優先度について

まちづくりコンセプトも未だなく、慎重にならざるを得ない。123億円もの巨額を投じる必要性に市民からの疑問の声がとても多い。庁内でも市民反応と似た温度差を感じる。

①改めて市民と一緒に考えるまちづくりアンケートの実施について伺う。②職員対象の全庁的なアンケート実施について伺う。③本事業が駅南開発に影響を及ぼさない確認と、優先順位を伺う。④成果予測の500戸、1,500人の宅地需要をどう分析し根拠としているか伺う。⑤予算集中と居住誘導により、他地域への予算が縮減地域衰退の懸念への対応を伺う。

市長 高木晴雄

答 ①昨年度、まちづくりに向けたアンケート調査を実施した。②各課意見を伺い、アンケート同等の効果が得られている。③財政需要を計画立てた上で

事業間の優先順位を設けず取り組む。④直近5年間の宅地分譲新設戸数が182戸ある。⑤周辺地域の方もその恩恵を享受でき、市全体の安定的な発展に繋げる。

その他の質問

- こども屋内運動遊び場整備事業について
- 安心安全な道路施設等の管理について
- こども誰でも通園制度の導入について
- 高齢者施設利用者のマイナ保険証の取り扱いについて
- AIデマンド交通の活用状況と利用促進について
- 本市の農業実態と農機具バンク創設について
- 本市の教育行政について



▲日本カーボン(株)山梨工場跡地

赤松の会

村田 浩 議員



問 市長任期3期目に挑む決意について

3期目に向けた決意と将来に向けた構想について伺う。

市長 高木晴雄

答 まず、インフラ整備の更なる深化・加速と考え、ア

ザレアタウン整備事業や旧市役所跡地活用整備事業に加え、駅南地域の整備やその他の未利用公有財産の有効活用など、積極的に進める必要がある。次に、アフターコロナによる積極的な施策推進である。特に子ども達には、「共同のよろこび」「共育のよろこび」「共食のよろこび」を実感することが大切であると考え。そのため、「学校農業体験圃場」を通じて、子ども達が大地の恵みを肌で感

問 「旧日本カーボン山梨工場」跡地活用について

現在までの進捗状況について伺う。

市長 高木晴雄

答 市内の若者と意見交換を

実施し、これからのまちづくりの参考にしていく。これらの取組みとアンケート結果などを集約し、基本方針の策定を検討委員会において進めている。「人口減少が進む中、対象地において1つの機能だけで整備することは難しいのではないか。」「対象地を囲むようにフルーツ公園や万力公園など資源が存在する一方で、交通網の脆弱性がある。」などの意見があり、これらも参考に検討を進

めていく。「実際に整備が行われるまでには、一定の期間を有するため、その間の活用も検討すべき。」との意見を受け、臨時的なイベント等で利用することで、広く市民の皆さんにも関心を持ってもらえるよう取組んでいく。本事業は、拙速に進めるのではなく、本市の100年の大計に即した最大の効果をもたらす事業となるよう取組みを進める。

問 「子ども屋内運動遊び場」建設場所の変更について

①変更された経緯について伺う。②旧情報センターを利活用する検討がされたのか伺う。③「働く婦人の家別館跡地」の活用について伺う。

市長 高木晴雄

答 ①アンケートやワーク

シヨップの結果を受け、保護者の方々が安心して子育てできる、子育て支援機能を併せ持った、こども屋内運動遊び場へと整備方針を変更した。これに伴い、働く婦人の家別館跡地では、整備に必要な面積の確保が困難となった。併せて、利用者の安全性の確保や、多くの方々の目に触れやすく、近隣の万力公園をはじめとする公共施設との連携を図る上で、より最

適な場所になることから、建設予定地を隣接する多目的広場の敷地へと変更した。②関係省庁に対して、解体の目的や経緯、また、跡地の利活用等について丁寧に説明し、補助金の返還を要しないこととなったため解体の決定をした。③働く婦人の家別館跡地を、ドッグランの移転候補地として可能性を模索する。

＜その他の質問＞

○令和6年度の決算概要について
○男性職員の育児休業取得状況について

○風水害に対する庁内連携体制等について

○旧式の上水管全撤去について

○全国学力・学習状況調査について



▲屋内子ども遊び場建設予定地



天野有紀 議員

つながる未来会

問 学童クラブのWi・Fi環境について

ICT教育の進展に伴い、宿題のデジタル化や電子図書の活用が進む中、学童クラブでもWi・Fi環境が必要だと思うが、本市の現状と今後の整備計画について伺う。

市長 高木晴雄

答 市内学童クラブには現時点でWi・Fi環境は未整備であるが必要性は認識している。令和8年度からの指定管理者制度の導入に向けて、現在公募中であり、運営にWi・Fi整備を組み込み各学童クラブや児童センターで整備を進める方針である。

問 デジタル教科書の導入状況について

更新される予定の新タブレットは1.42kgと従来より220g重く、教科書やノートを加えると総重量が4.5kgになるため、体への影響やストレスを懸念する声がある。デジタル教科

書の導入状況と児童生徒への身の負担軽減策について市の考えを伺う。

学校教育課長 久保川貴教

答 今年度から英語・算数・学に加え、国語・理科・社会を含む5教科すべてのデジタル教科書と英語の補完教材も導入済みである。ランドセルや通学靴が重い現状は教育委員会としても課題と認識している。児童生徒への心身の負担軽減策としての「置き勉」については国の通知に基づき許可しており、小学校では国語・算数以外は原則学校に置く、中学校では持ち帰り不要のリストを作成するなど

の工夫を実施中である。今後も学校間で取り組みを共有し、児童生徒の負担軽減を図りながら教育環境を整えていく。



萩原弥香 議員

公明党

問 人口減少対策について

「結婚新生活支援」は事業化した。これからは、年齢条件等も緩和し、長期的に移住すれば土地・中古住宅等を無償譲渡する施策を提案する。本市の空き家等の現状と考えを伺う。

市長 高木晴雄

答 本市では空き家約500軒。所有者不明土地は、相続人不存在が約30件、確認中が約20件。世代や世帯ニーズに応じた柔軟な施策が求められている。他市にはない魅力ある人口減少対策を講じる。

問 無痛分娩費用への助成について

東京都は、10月1日以降出産の方を対象に助成を始める。市立産婦人科医院を有する本市こそが初めに助成の実施をと要望する。

こども・子育て課 坂本成人

答 市立産婦人科医院では、「和通分娩」を実施しており、約30%の方が選択されていると伺う。先進自治体を参考に、前向き

に検討する。

問 地震・火山・風水害への対応の強化について

今後、東日本大震災レベルの地震が起きると予想され、「富士山噴火」もあり得ると多くの学者が警鐘を鳴らす。本市でも地震・火山学専門の方をお招きし「災害予防」の観点から、正しい知識から学ぶ講演を計画いただきたいと強く要望する。

防災危機管理課長 星野正裕

答 市制施行20周年記念事業の一環で、5月11日、花かげホールに三浦房紀山口大学名誉教授をお招きした。専門的なノウハウが蓄積された関係機関と調整し、次の開催に向けた検討を進める。

その他の質問

○重度心身障害者医療費窓口無料化について

○重層的支援体制整備事業の促進について



一般質問



岩崎友江 議員

やまなし未来の会

問

避難所の準備状況について
先日、共同通信社が行った全国の自治体を対象とした避難所の準備状況アンケートの結果が公表されたため、本市の状況について伺う。

①避難生活の中で、トイレ事情が劣悪で不衛生な状況であり、入浴施設の確保も難しくなっているが、本市の対応を伺う。②避難所となっている市民総合体育館には空調設備がなく、非常に心配であるが今後の対応を伺う。

市長 高木晴雄

答

①防災倉庫及び指定避難所にポータブルトイレ、便処理袋、パーテーション、利便性の高い段ボール製の簡易トイレ等の備蓄を進めている。②市民総合体育館は築40年が経過しており、大規模改修事業にアリーナや武道館、会議室等にエアコンを設置の計画である。

問

山梨市「義務教育学校」の進捗状況について

2016年に、小学校・中学校

と同様、学校の種類のひとつとして制度化された「義務教育学校」は、山梨市が県内初となる取り組みとなるが進捗状況について伺う。
①教科担任制についての効果と課題について伺う。②義務教育学校の教育活動はどのようなものがあるのか伺う。③令和8年4月の開校に向け、今後取り組み課題を伺う。④保護者への説明等の予定を伺う。

教育長 竹川和彦

答

①児童から前向きな感想がある一方で、学校間の物理的な移動に注意を払う必要がある。②小学5年生から中学2年生を縦割りにし、問題発見・課題解決型学習の実践がある。③特色を生かせる教職員の配置となるよう規則等の改正を求めていく。④市のホームページ、広報誌を活用していく。

その他の質問

○山梨市のDX推進に向けた取り組みについて

○学校体育館の空調整備について



▲災害用備蓄品（段ボール製簡易トイレ）



矢崎和也 議員

新翔会

問

クラインガルテン整備事業について

①今議会に建物建築実施設計委託料として1,780万円が計上されているが、どの建物の設計なのか、また、総事業費をどの位と考えているのか伺う。②利用者がそれぞれの都合で来訪し利用する施設に於いて、集会施設を建設する事の必要性について伺う。③他市での同様の事業との差別化した取り組みとは何か伺う。④本事業を進めるにあたり、アザレアタウン同様に議会に対し想定する事業費や、事業内容を示さないまま進めていく事についての考え方を伺う。

農林課長 根津昭彦

答

①簡易宿泊施設と、集会施設的设计委託料で、総事業費は約10億円を見込んでいます。②都市と農村の交流促進の為に重要な施設である。③自然環境や周辺観光施設、首都圏からの優れたアクセスにより差別化が図られている。更に、果樹農業の体験プロ

グラムや地元住民との交流促進を図り、独自の運営体制を図る。④議会に対しても常に丁寧な説明を行っていく。

再

クラインガルテンへの接続道路の整備内容、また、運営方針をどの様に考えているのか伺う。

農林課長 根津昭彦

答

都市計画法上の開発行為に当たる為、北側からの400mを拡張し、南側は畑地帯総合整備事業により拡張する。運営主体については、指定管理者制度を含む民間委託を考えている。

その他の質問

○各地区の道や水路などの整備等について

○本市の学校給食の今後の方針について



▲クラインガルテン整備予定地



島村雅美 議員

赤松の会

問 消えかかっている外側線路面標示について

①道路の外側線、センターライン、横断歩道、停止線などの管理や修繕は、どのように実施しているのか伺う。②道路の薄くなった路面標示について、通行者から連絡があった場合、市ではどのような対応をしているのか伺う。

建設課長 古屋亨

答 ①横断歩道や停止線は、公安委員会が管理・修繕し

ており、車道の脇に引かれた外側線や車道の破線等は、市や県が管理・修繕を行っている。外側線等の摩耗は、道路の交通量に応じて異なるため、各管理者が現地で摩耗の度合いを確認し、修繕を実施している。②現地を確認し、通行量や摩耗の度合いに応じて、半期ごとに複数路線をまとめて修繕を実施している。横断歩道や停止線などは公安委員会に、国道・県道の路面標示は県に連絡し修繕を依頼している。



▲日川橋

問 日川橋架け替えについて

①日川橋の持つ役割や、橋の架け替えにより市にもたらす効果について伺う。②現時点での進捗状況について伺う。

建設課長 古屋亨

答 ①市の中心市街地から中央道を繋ぐ主要幹線道路として、商工・観光・物流などの面においても重要な橋となっている。

②本年8月末に、一町田中区へ事業についての説明があり、年度内の事業化を目指し、速やかに詳細な設計に着手していくと伺っている。

〈その他の質問〉

○山梨市と山梨大学連携による地域課題解決に向けた研究事業について

○山梨市災害時の個別避難計画について



藤巻豊彦 議員

至誠会

問 本市における農福連携に向けた取組みについて

①障害者等の就労機会の確保を図るために、農福連携に対して積極的に取り組む農業者に対する補助金の創設などについて伺う。②峡東地域農福連携推進協議会に対して、本市が現在どのような関係性を持っているか伺う。

市長 高木晴雄

答 ①就労支援事業所や山梨県農福連携推進センターな

どの関係機関との連携を深め、協力体制を構築することや、農業者のニーズを的確に把握することが必要不可欠のため、今後は、他市町村の事例や実績を参考にしながら、本事業を推進するための具体的な施策について、調査研究していく。②現時点では協議会の活動に対する後援にとどまっているが、今後

は協議会の活動状況を注視しつつ、参加支援事業所のニーズの把握や参加していない事業所への情報提供を行うなど、必要な連携を図っていく。

〈その他の質問〉

○関係人口の拡大を目指す農業インターンシップ制度確立と、その短期宿泊施設の整備について

○市制20周年記念事業について

○クラインガルテンについて



▲袋かけ後のぶどう棚の様子

一般質問



糠信 平 議員

日本共産党

問

デマンド交通について

①乗降場所として、個人病院も対象にするべきではないか。②一律料金にするべきではないか。

市長 高木晴雄

答

①市民要望があり、医師会総会にて説明を行い、乗降場所設置に関する調査を実施した。その結果10の医療施設から設置の要望があったため、本年度の地域公共交通会議にて協議し、その同意を得たところである。現在、国との最終的な協議を行っているため、協議が整い次第、速やかに運用を開始する。②一律化については、短距離利用の方の負担が増加する可能性があるため、現行の料金体系を基本とし、今後の利用状況や利用者の生の声も生かし、必要に応じて検討していく。

問

国民健康保険税について

①健康保険と国民健康保険の格差について、比較を試算し、市の見解を伺う。②18歳までの子どもに対する国民健康保険税の均等

削減の実施について予定を伺う。
健康増進課長 土屋公彦

答

①年収400万円の夫婦と小学生児童1人の世帯で試算した。年間保険料は、国民健康保険は約34万円、健康保険は事業主折半のため実質負担約20万円となる。国民健康保険加入者の負担軽減を図ることは重要な課題であり、国や県に対して制度改善を要望していく。②減免については、一般会計にかかる負担が大きく、市民全体の公平性の観点から慎重になる必要がある。

再

②の公平性とは何か伺う。

健康増進課長 土屋公彦

答

一般会計からの繰り入れについては、繰り入れ基準に従って行うこととなっている。

《その他の質問》

○生活保護受給者の車の使用について



木内健司 議員

公明党

問

落雷事故防止について

落雷事故を防ぐため、市内学校での取り組みと、小原スポーツ広場などの利用に際しどのような取り組みをされているのか伺う。

市長 高木晴雄

答

本市では他の自然災害と合わせた危機管理対策と捉え、山梨市学校防災ガイドラインを定め、雷鳴が聞こえた時や落雷が予想される場合に、屋外での授業等を中止し屋内に避難するよう具体的に指示し、状況に応じ下校時刻の変更や児童生徒の安全確保と保護者への連絡に関する留意点も定めている。また、屋外社会体育施設については、建築基準法により避雷設備の設置が義務付けられた、小原スポーツ広場、八幡スポーツ広場、軽スポーツ広場の3箇所には避雷設備が設置されている。避雷設備のない屋外の社会体育施設を利用される団体に対し、落雷事故防止のための適切な対策を講じるよう周知していく。

問

感震ブレイカーについて

震災発生後の通電火災を防ぐため、感震ブレイカーの周知、YouTubeを活用した防災情報発信、感震ブレイカーの設置や購入補助制度を設けるべきと考えられているのか。

防災危機管理課長 星野正裕

答

市では自主防災組織指導者講習会や防災出前講座において感震ブレイカーの周知を行っている。YouTubeの活用事例を検証する中で防災講習会等の内容をまとめた動画の公開について検討する。感震ブレイカーの購入などに対する補助制度の導入については、広く効果的に活用していただける制度となるよう研究していく。

《その他の質問》

○リチウムイオン電池などの適正処理について



▲小原スポーツ広場に設置された落雷事故防止の表示板



長沼和人 議員

笑顔やまなし

問 笛吹川、及び笛吹川河川敷の安全対策、そして有効活用について

世界中で地球温暖化の中、日本でも異常気象における大雨、土砂崩れ、洪水等の被害がでている。①洪水等の水害に対する防災・減災対策について伺う。②笛吹川河川敷の樹木の伐採、撤去について伺う。③河川敷の樹木に生息する鳥獣害対策について伺う。④万力公園付近のイベント等の有効活用について伺う。

市長 高木晴雄

答 ①甲府地方気象台等の情報を防災行政無線や防災アプリ、ホームページやSNS、CATVを活用して、迅速かつ正確な情報提供を心掛けている。また、土砂災害・洪水ハザードマップの全体見直しを5年ぶりに行い、配布する予定である。②近年の異常気象による増水は、樹木が通水を阻害し、水害を引き起こす危険性が懸念される。市では、これまで

も国や県へ状況等を伝えており、

今年度も河川内などの樹木の伐採を実施する予定である。これからも市民の安全安心を十分に考慮した対策が取られるよう請願していく。③国庫補助の鳥獣被害防止総合対策事業を活用して生体調査を実施しており、その調査を基に万力地内の河川にくくり罠を設置、捕獲してきた。今後も野生動物の生息環境を適切に管理する中で、農地の防護を図り、地域の安全を確保、そして効果的な捕獲活動を継続していく。④「山梨市かわまちづくり計画」に基づいた取り組みを進めてきた。今後も笛吹川の自然と共存を図り、ベンチの設置や遊歩道の整備、水辺や自然に親しむイベント等を計画・実施していく。

その他の質問

○神徳橋の拡幅、及び神徳橋周辺の道路整備について

○通学路等におけるの安全確保対策について



▲笛吹川の高木



清水和美 議員

赤松の会

問 人口減少対策の強化について

山梨市公共交通利用通学者支援事業に加え、早朝の臨時かいじ号増発による通勤時間の短縮や交通便利性の向上を契機として、本市から首都圏等へ通勤する方々に対しても、定期券購入補助の拡充や移住促進を目的とした通勤支援補助金の創設を提案するが、市長の見解を伺う。

市長 高木晴雄

答 現在、本市では県外の大

学等に電車で通学する学生を対象に、定期券購入費用の補助を行っている。首都圏へ通勤されている方への補助についても、転出抑制や本市への移住を検討していただく選択肢の一つになり得ると捉えていることを踏まえ、さらなる人口減少対策につなげるため、首都圏への通勤者数の把握や勤務先からの通勤手当支給状況などの調査を実施し、検討していく。

問 小中学校におけるプール活動について

各学校が共用する新たなプールの新設について現時点の考えを伺う。

学校教育課長 久保川貴教

答 学校での水泳授業は、身の健全な育成と、水の事故から命を守る安全教育の面からも、安全で適切な施設の環境整備が求められる。自校のプールはもとより、自校外の屋内温水プールや牧丘B&G海洋センターのプールも施設の劣化が進んでおり、今後、様々な観点を踏まえる中で、市民の健康づくりと併せ、小中学校の水泳授業を行う施設として、新たなプールの建設を検討していく。

その他の質問

○本市における物価高騰対策について

○市民の健康増進に繋がる効果的な取組について



一般質問



榎野雅敏 議員

赤松の会

問 本市の地域ブランディングについて

地域ブランディングを推進するにあたり、どのような取り組みを進めているのか伺う。

市長 高木晴雄

答 現在、本市の強みや価値を調査・分析した、「地域ブランディング戦略」の施策を進めている。

問 物価高騰から暮らしと生活、また地域経済を守る政策について

中小零細企業などを守る支援策について、市の考えを伺う。

商工労政課長 宮本誠

答 物価高騰に対する国の支援策の動向にも注視し、迅速な対応を図る。

問 本市の公共施設における空調設備の運用等について

空調設備を導入する際、サステイナビリティやゼロカーボン



▲かのいわ古道かのがわ広場水車

の観点も考慮されるのか伺う。

答

導入の際には、想定される熱源別にライフサイクルコストを試算し、サステイナビリティやゼロカーボンの観点も合わせて、総合的に判断する。

行政視察受入

令和7年10月に神奈川県葉山町議会、11月に長崎県南島原市議会の各委員会の皆様が、本市に行政視察研修のため来庁しました。山梨市議会からは、向山議長がお迎えをし、各担当課が研修項目の説明と現地視察を行いました。

令和7年10月28日
神奈川県葉山町議会
総務建設常任委員会
テーマ「狭あい道路整備事業について」



令和7年11月6日
長崎県南島原市議会
農林水産・建設委員会
テーマ「インフラ整備について」



行政視察研修の様子（左：神奈川県葉山町議会、右：長崎県南島原市議会）

総務常任委員会

付託議案

- 議案第69号 山梨市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第70号 公益的法人等への山梨市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第71号 山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について
- 議案第74号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分
- 議案第76号 令和7年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第100号 山梨市民総合体育館改修機械設備工事(継続)請負契約について
- (1)議会費(2)総務費(9)消防費(13)諸支出金第2表「繰越明許費」第3表「債務負担行為補正」第4表「地方債補正」

総務常任委員会

◎藤巻 豊彦 ○岩崎 友江
清水 和美 土屋 裕紀
木内 健司 村田 浩

○議案第74号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分について

問 歳出 2款総務費 1項 総務管理費のうち、バス維持管理経費について、庁用バス運行委託料の増額に関連し、運転手の不在による対応について伺いたい。

答 今年度は、民間事業者に年間を通し 外部委託で対応をしていく。来年度以降については、バスの使用頻度等を踏まえる中で、運転手の確保を検討していく。

問 9款消防費 1項消防費のうち、消防団活動費について、消防団ドローン隊事業に係る、操縦免許を取得できる団員の要件があれば伺いたい。併せて、火災のほか、防災面での活用も想

定しているのか伺いたい。

答 ドローン事業を持続可能なものとするためにも、なるべく年齢が30代前半までの団員による免許取得を奨励している。また、地震を含む大規模災害対応に際しても、ドローンは有効な資機材であり、現場対応に当たる団員の安心安全の確保にも繋がるものと考えている。

○議案第100号 山梨市民総合体育館改修機械設備工事継続請負契約について

問 本契約の方後審査型条件付き一般競争入札



▲総務常任委員会での審査の様子

のメリットと、本契約による工事内容について伺いたい。

答 まず、『事後審査型条件付き一般競争入札』とは、通常の一般競争入札が、入札参加業者からの提出書類を、事前に全社分の確認を済ませた上で入札する制度であるのに対し、事後審査型は、入札後において、落札業者1社の関係書類だけを確認するものであり、事務処理時間の短縮と早期の着工が図られる点に大きなメリットがある。なお、本契約による工事内容は、体育館内の機械設備についてであり、具体的には冷暖房設備、換気設備、消火設備、その他トイレなどの衛生設備と給排水設備の各工事である。

※現地調査として、庁舎維持管理事業に係る「西館北側エレベーター」と、防災無線維持管理事業に係る「Jアラート受信機」の視察を行った。



▲庁舎西館北側エレベーター視察の様子

委員会報告

建設経済常任委員会

付託議案

議案第72号	山梨市事業所設置奨励条例の一部を改正する条例について
議案第74号	令和7年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分
議案第77号	令和7年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
議案第80号	令和7年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第1号)
議案第81号	令和7年度山梨市水道事業会計補正予算(第1号)
議案第82号	令和7年度山梨市簡易水道事業会計補正予算(第1号)
議案第83号	令和7年度山梨市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第102号	山梨市道の路線の認定について

山梨市事業所設置奨励条例の一部を改正する条例について
令和7年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分
歳入に関する部分、歳出に関する部分のうち
(2)総務費(基幹統計調査費)(6)農林水産業費(7)商工費(8)土木費
第2表「繰越明許費」第4表「地方債補正」

○議案第72号 山梨市事業所設置奨励条例の一部を改正する条例について

問 本条例の内容及、改正の目的について伺いたい。

答 本条例は、一定の要件を満たした上で、市内に事業所を新設等した場合に、当該事業所の固定資産税相当額を3年間補助金として交付する事業を定めたものである。現在、自治体間の企業誘致競争が激化している中で、本市を立地場所に選んでいただくためには、企業にとってメリットのある施策を実施する必要がある。事業所の設置は、市内への移住促進や雇用の創出等、多くの経済効果を生むが、併せて本社機能が移転されることで、その効果がより顕著になることから、事業所の新設等とともに本社機能を移転していただいた場合に限り、補助金の交付期間を3年追加し、計6年間とするよう制度を拡充するこ

とで、企業誘致の更なる推進を図ろうとするものである。

○議案第74号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第3号)関係付託部分について

問 歳出6款農林水産業費1項農業費のうち、クラインガルテン整備事業について、完成までのスケジュールや完成後の運営方法等の検討状況について伺いたい。

答 現在、進入路や計画地内の造成に向けた実施設計を進めている。また、その後に実施する進入路の用地買収や各種工事等には約2、3年かかることを想定しているため、それが順調に



▲建設経済常任委員会での審査の様子

進むことを前提に、令和10年頃の完成を目指すこととしている。運営方法については、1区画ごとの貸し借りとし、利用者には入会金及び年会費を負担いただくことを想定しているが、金額等の詳細は、先進事例を参考に、引き続き検討を進めていく。

問 歳出8款土木費2項道路橋梁費のうち、市道小原東東後屋敷線について、事業の進捗や供用開始予定について伺いたい。

答 市道小原東東後屋敷線道路改良事業については、工事を鋭意進めており、9月中には工事が完了する見込みである。供用開始については、10月1日を予定している。

要望事項として、クラインガルテン整備事業やアザレアタウン整備事業を始めとする各事業について、議会が審査するための説明や、資料が不足したまま事業が進めら

※現地調査として、クラインガルテン整備事業実施箇所視察を行った。



▲クラインガルテン整備事業実施箇所視察の様子

れている。事業の立案や見直しにおいては、本市が財政力の弱い自治体であることを改めて自覚したうえで、収支の予測や費用対効果の検証など、民間企業の視点を意識し、市民にとって真に必要な事業か、最少の経費で最大の効果を挙げられる内容を、慎重に検討していただくと共に、議会が、市民の代表であることを再度認識いただき、分かりやすい資料の作成と丁寧な説明に努めていただくことを強く要望する。

建設経済常任委員会

◎星野 洋 ○榎野 雅敏
糠信 平 島村 雅美
矢崎 和也 深沢 敏彦

教育民生常任委員会

付託議案

- 議案第73号
山梨市立牧丘病院設置及び管理条例の一部を改正する条例について
令和7年度山梨市一般会計補正予算(第3号) 関係付託部分
歳入に関する部分、歳出に関する部分の内
(3) 民生費(4) 衛生費(10) 教育費第4表「地方債補正」
令和7年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
令和7年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)
令和7年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)
令和7年度山梨市病院事業会計補正予算(第1号)
学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバーロード」の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
山梨市学校設置条例の一部を改正する条例について

教育民生常任委員会

◎根津 和博 ◎萩原 弥香
向山 輝 遠山 雄二
長沼 和人 天野 有紀

○議案第74号 令和7年度山梨市一般会計補正予算(第3号) 関係付託部分について

問 歳出 3款 民生費 2項 児童福祉費のうち、子育て支援事業経費について、こども屋内運動遊び場造成工事精査による2400万円の減額は、建設場所を変更したことによる、造成工事の金額のみの減額なのか、建物の仕様の変更も含まれているのか伺いたい。

答 働く婦人の家別館跡地には、西側に水路があり、水路の改修が主な費用であったため、建設場所が変更になったことによる減額である。

問 歳出 10款 教育費 1項 教育総務費のうち、備品購入費について、備品は、どの学校に、なにを購入するのか詳細を伺いたい。

答 市内小中学校11校に、ICT教材を購入する。大型

モニターや、移動式スクリーン、実物投影機など12品目の中から、各学校で希望のあったものを準備していく。

○議案第78号 令和7年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

問 歳出 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費のうち、成年後見制度利用支援事業費について、虐待等の案件での一時保護について、現状を伺いたい。また、市として、さまざまな形のアウトリーチを行う中で、見えてきた成果について伺いたい。

答 4月以降、1件の方が、虐待案件で



▲教育民生常任委員会での審査の様子

一時保護をすることになり、安全が確保されるまで、長期間の保護が必要となった。今回のケースは、重層的支援体制整備事業の多機関協働事業で関わりを持っていた方であり、複数の課で関わりを持っていたことで、早期に把握し対応することができ、重篤な状態となる前に保護することができた成果と考えている。

問 歳出 3款 地域支援事業費 5項 介護予防・生活支援サービス事業費のうち、第1号通所事業費について、介護予防生活支援サービス事業である、通所型サービスCについて詳細を伺いたい。

答 現在、通所型サービスCを行っている事業所は、運動機能向上のための体操教室、社会参加のきっかけづくりのための、健康マージャン教室、リハビリ専門職が、リハビリや脳トレを行う教室の3事業所と契約してい

る。令和7年10月から、新たに1事業所が運動機能向上のための活動を開始する予定となっている。

※現地調査として、こども屋内運動遊び場の建設予定地の視察を行った。



▲こども屋内遊び場建設予定地視察の様子

決算特別委員会

付託議案

議案第99号	令和6年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第98号	令和6年度山梨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第97号	令和6年度山梨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第96号	令和6年度山梨市交通・火災・災害共済事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第95号	令和6年度山梨市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第94号	令和6年度山梨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第93号	令和6年度山梨市生活文化事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第92号	令和6年度山梨市産業振興特別会計歳入歳出決算認定について
議案第91号	令和6年度山梨市西保財産区管理会計歳入歳出決算認定について
議案第90号	令和6年度山梨市西保財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第89号	令和6年度山梨市水道事業会計歳入歳出決算認定について
議案第88号	令和6年度山梨市簡易水道事業会計歳入歳出決算認定について
議案第87号	令和6年度山梨市下水道事業会計歳入歳出決算認定について
議案第86号	令和6年度山梨市病院事業会計歳入歳出決算認定について

決算特別委員会

◎土屋 裕紀 ○岩崎 友江
天野 有紀 長沼 和人
糠信 平 榎野 雅敏

○議案第85号 令和6年度山梨市一般会計歳入歳出決算認定について

問 本市公債費について、令和6年度末現債高が、前年度比18億4,358万円減額となったが、今後の見通しについて伺いたい。

答 今後償還元金以上の借り入れをしない方針であるため、減っていくものと考えているが、大型事業の実施時期においては、ある程度の現債高の増加を見込んでいる。

問 総務費のうち、政策形成経費について、山梨市駅南口周辺整備基本構想可能性調査による成果と、整備が開始されるまでの日本カーボン株式会社山梨工場跡地の有効活用について伺いたい。

答 当該調査内容は、あくまで基本構想策定前の南口周辺整備における可能性についての調査である。そのため事業者から

は、全国各地の優良事例やそれを実現するための事業手法などについて示されたところである。なお、事業開始までの土地活用については、今般そのための要綱を策定し、臨時的な利用を行うことで、土地の有効活用を行うとともに、多くの市民の皆さんにも当該用地に関心をもっていただきたい。

問 土木費のうち、山梨市駅南地域整備推進事業経費について、当初予算を補正して増額したにも関わらず、決算ではその半額以下の執行率になった理由と、当該事業の進行スケジュールへの影響について伺いたい。

答 執行率が低かった理由としては、事業を進める上で必要となる用地取得の進捗度合いや、国からの補助金交付額の影響などがある。しかしながら、昨年度予定していた工事は、発注時期によつては、工期が年度を跨ぐことも想定されていたため、全体ス

ケジュールへの影響はなく、現在令和9年度中の開通に向けて順調に進んでいるところである。

問 歳入に係る教育費負担金のうち、給食費負担金について、保護者から徴収する給食費に係る221万円余の収入未済額について、令和6年度1年間分の給食費は無償化されたため、この金額は、令和5年度以前の未済分と思われるが、これへの今後の対応方針について伺いたい。

答 学校給食費の収入未済分への対応については、時間の経過とともに本人との接触が難しくなり、大変徴収しにくいケースが増えているのが実情である。しかしながら、市民負担の公平性や財政の健全性確保のためにも、私債権であることを踏まえつつ、引き続き、法令等に基づき粘り強く取り立てを進めていく考えである。

問 活性化事業会計について、昨年4月からの市営温泉3施設に係る使用料金引き上げの影響をどう分析しているのか伺いたい。

答 利用人数は、3施設すべてにおいて前年度比で減少している。客層の約7割が市民であり、その多くが日常的な利用者であることから、今回の料金引き上げは、少なからず影響しているものと考えている。なお、一番減ったのは観光客など市外からの大人の利用者であった。また、年間の使用料収入は、3施設とも前年度比で増加しており、この点は、料金改定による効果が大きかったと考えている。

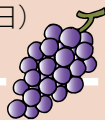


▲決算特別委員会での審査の様子

議会活動日誌

9月

- ・令和7年9月定例会（8月18日～9月19日）
- ・第20回山梨市総合体育祭（7日）
- ・第3回世界農業遺産フェスティバル（7日）
- ・第41回山梨市巨峰の丘マラソン大会（14日）
- ・日川高校女子ウエイトリフティング部
優勝祝賀会（23日）



10月

- ・第72回甲州市かつめまぶどうまつり（4日）
- ・根津記念館大茶会（5日）
- ・社会資本整備推進山梨県議会議員連盟講演会
及び臨時総会（10日）
- ・関東市議会議長会理事会・視察（15日・16日）
- ・山梨市市制祭（18日）
- ・大井俣窪八幡神社例大祭（19日）
- ・令和7年度山梨市戦没者合同慰霊祭（22日）
- ・山梨県市議会議長会第274回定期総会（29日）
- ・議会運営委員会（31日）
- ・議員全員協議会（31日）
- ・議会だより編集委員会（31日）



11月

- ・山梨市牧丘地域福祉運動会（1日）

- ・甲州市市制祭（1日）
- ・首都圏山梨市県人会（2日）
- ・第120回評議員会合同会議（5日）
- ・秋の観光地美化清掃（17日）
- ・令和7年度山梨市義務教育振興会議（17日）
- ・県と県内市長・議長意見交換会（19日）
- ・議会運営委員会（25日）
- ・議員全員協議会（25日）
- ・山梨市地域福祉大会（29日）
- ・令和7年12月定例会（11月28日～12月22日）



議員活動報告

令和7年10月29日、第274回山梨県市議会議長会定期総会が、笛吹市のホテル春日居で開催され、向山議長及び遠山副議長が出席しました。総会では、令和7年度下半期の行事予定等について審議されました。



▲第274回山梨県市議会議長会定期総会

12月定例会開催予定

- 11月28日(金) 本会議（開会）
- 12月11日(木) 本会議（代表質問）
- 12日(金) 本会議（一般質問）
- 16日(火) 常任委員会
- 22日(月) 本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



編集後記

日頃より「議会だより」をお読みいただき、誠にありがとうございます。

記録的な猛暑が続いた今夏でしたが、気付けば肌寒くなり、徐々に冬の気配がしてまいりました。

今任期2度目の定例会を終えましたが、これからも私たち議員一同、市民の代表として、精一杯職務に励み、本市が更に発展するよう積極的な施策提言を行って参ります。引き続き、皆様からのご意見やご要望をお聞かせください。

星野 洋

「議会だより」編集委員会

委員長
副委員長
委員

藤巻 豊彦
村田 浩
向山 輝
根津 和博
星野 洋
遠山 雄二